

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2013/1/8 実施)～

2013/1/21 作成、参加人数：6名、文責/編集：相澤*、写真：相澤・M.K.

*この観察日記は参加者からいただいた感想を基に作成しております。

◇気候・野鳥

お天気に恵まれた今年初めの観察会、さぞ寒いことでしょうかと覚悟をしていましたが、風はあまり強くなく、穏やかな日和でした。アシやオギの茂みからは、ウグイス、アオジの鳴き声が聞こえました。じっとみていると、時々でてきては、またひっこむ。スズメもきて、止まっています。今日はおひさまもたっぷり、鳥たちは気持ちがいいんだろうなと思いました。

モズ



コガモ



園路上に何者かの足あとが…



中央池のダイサギ



いつ歩いたの？サギくん。湿った遊歩道に足跡がついています。コサギかな、ダイサギかな。その上にはうっすらと氷がはっていました。

中央池にはダイサギがのっそりのっそり。首のラインが水面に写ってハート型になるかな？と思いましたが、こうして見てみると、アサガオの葉っぱの形のような感じです。

その他にもハクセキレイ、シロハラ、モズ、コガモ、ウグイス、コサギ、ヤマガラ、アオジ、メジロ、シジュウカラなどの野鳥が見られました。

◇植物

コブシ

去年は、松戸のどこのコブシも花を少ししか、咲かせなかったのですが、今年は市内どこのコブシも花芽を沢山付けています。白いビロードのような手触りをした毛皮のコートを着ている花芽は、日ごと大きくふくらんでいます。私は葉を落としたあと、目にとまる白いコートを着た花芽がそのまま大きくなると思っていました。なぜなら花芽は高い位置にあってなかなか見る機会がなく、今年は花芽がたくさん、手に届く枝先まで付けていて初めて見る事が出来ました。はじめのコートは二つに割れ茶色になって剥がれ落ちて、中にまた白い毛皮のコートを着た花芽が表れます。また花芽が大きくふくらむと今度は花芽のもとから剥がれ小さくなったコートを帽子を脱ぐように少しずつ脱いでいきます。まだこの段階までしか観察していないので何回繰り返すのかはわかりません。モクレンも同じようです。たくさんの花を付ける春が楽しみです。関宿にあるコブシには負けるかな。



オギ原

オギ原は枯れても美しい

葉と穂の色のコントラスト

光にあたってよりきれい

ヤマボウシの冬芽

台地上の広場のヤマボウシ。冬芽がタージマハルのようでした（右写真）。殻が割れて中が出ているものもあるのですが…（下写真）これはもう花芽が出ているということなのでしょうか？



桐の実

先月掲載できなかった桐の実の写真です。タネ自体（右写真）はとても小さく、すぐに飛んで行ってしまいます。これがおなじみの実（左写真）の中につまっています。



次回の根木内歴史公園の湿地の観察会は**2月12日（火）**に行います（小雨決行）。**10:00**に公園駐車場に集合で、昼まで観察を行い公園内でお弁当を食べます。去年の2月はカシラダカがつがい、カワセミ、12羽ものカルガモが湿地に現れ、オニノゲシのトゲトゲのロゼットなどを観察しました。寒い中、今年は何が見られるのでしょうか？

お問い合わせ（千葉大・相澤）

E-mail : akihitoaizawa@gmail.com